

教育 おおらか・さわやか・きわやかな大崎の教育

問 教育委員会管理課 ☎476-1111(410)

◆大崎町教育振興懇談会を開催しました

2月28日(火)、東町長、小野議長をはじめ各公民分館長、学校長、PTA会長、企業の代表など総勢40名が集まり、『家庭・地域・企業等が教育の重要性を理解し、それぞれの教育力の向上を図り、学校を支援する態勢を作るために』というテーマで懇談会が開催されました。

初めに藤井教育長から、今年度の教育委員会の取り組みや成果が報告され、学力向上、体力向上、生徒指導の充実、家庭・地域連携の強化が今後の課題と示されました。教育の抱えるさまざまな問題は、学校教育だけでなく家庭教育や社会教育など地域社会がより強く連携することが重要で、今後の大崎町にとって取り組む要素と再確認することができました。今後の教育行政に大いに生かしていきたいと思えます。



まぶい窓おしえの庭

『子どもは地域の宝』

No.42 南薩教育事務所指導主事
(前大崎町教育委員会指導主事)

久留 理剛

『子どもは地域の宝』とよく言われます。子どもの笑顔や輝く瞳、明るくにぎやかな声は地域を元気にしてくれます。だから『宝』と呼ぶのかもしれませんが。私には、もう一つ『宝』の意味があるように思います。子どもは成長し、やがて立派な大人となり、自分の生まれ育った(自分を育ててくれた)地域に感謝し、地域のよき人間として地域のために尽くす人材となってくれるからです。私が出会い、一緒に過ごさせてもらった方々は、皆さんそう言った意味での地域の宝ではなかったかなと感じています。『ふるさと大崎』への強くて確かな思いは、まちづくりにも子育てにもよい影響を与えていると思えます。

3年間、指導主事という立場で学校教育に携わらせていただきました。その中で感じたことは『地域の宝』であってほしい子どもたちが、『自分だけの宝』となっていないかということです。確かに我が子は『自分の宝』なのですが、それは当たり前のことであり、そこから地域の宝となるために学校や家庭、地域が連携し子どもたちを育てることが重要なのだと思います。学校も家庭も地域も、それぞれに準備はできていると思えます。子どもたちが本当に『地域の宝』となって将来の大崎を背負ってくれる立派な人材となるよう、さらに一歩先に踏み出すことが必要なのではないのでしょうか。大崎町内の学校には立派な先生方がたくさんいらっしゃいます。地域の温かい見守りの中、今後も学校と家庭が連携し『地域の宝』を育てていってほしいと思えます。